学校番号	1206

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	（学）ものづくり探究（機械編 B）	単位数	3 単位	年次	3 年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

5 つの班から取り組みたい内容を選択しましょう。実習で習得した金属加工や木材加工の技術を生かし、校内外からの修理・作成依頼を受け活動を行い、自ら設計しものを作る楽しさや達成感を感じられるよう前向きに取り組みましょう。
また、成果発表を通し人前で話す力や伝える力を身につけましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
ものづくりに関する設計・材料選定等の一連の流れを学習する。
【思考力、判断力、表現力等】
作品のプレゼンを行い、工業技術を養うとともにプレゼン能力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
ものづくりを通して総合技術を学び、実際に活躍する能力と態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ものづくりに関する基礎的技術を実験・実習を通じて体験し、ものづくりに関する知識・技能を身につける。	ものづくりに関する諸問題の解決をめざして思考を深め、基礎的な技術をもとに技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につける。	ものづくりに関する課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期・後期	テーマの決定と作業	・テーマを考える ・年間計画を立てる ・作業内容を決定	a：研究をするための知識・技術が身についている ｂ：作業内容について考え、チームで協働しながら、作品として表現する力が身についている ｃ：チームで協力し、立体的に作業に取り組もうとしている。	作品 レポート	作品への取り組みの工夫・的確な判断	態度 意欲
	研究作業	・テーマ毎の作業 ・検証と改善				
	研究作業と発表	・テーマ毎の作業 ・検証と改善 ・発表資料の作成 ・究発表				

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度